

3 回目の質問は市長より所見を伺いたいと思います。

きもの de 結城で、イベントの参加者サイドという立場で参加させていただきました。いつも忙しい毎日の中で、とても、優雅な、ゆったりとしたスローライフを満喫できたことには、有意義な一日だったと感じていますし、結城の町を新たな発見をして、また参加してみたい、という気持ちになりました。

しかし、これからどうやってこのイベントを盛り上げていくか、が課題だと感じております。

方向性をどういう形に向けていくのかです。

通年観光客が来て賑わいをもてる「ゆうき」にするために、どうするかが課題ではないでしょうか？

たとえば、国際親善姉妹都市になっている、ベルギーにちなんで「ワッフルのまちゆうき」なんていうのも新しい感覚で、売り出せるひとつの求心力になると考えます。

いずれにしても、知名度が上がることにより、企業の進出、税収の増加、商工業振興、観光振興など、さまざまな可能性を、秘めているものと確信をしております。

日本全国に、あるいは全世界に、結城市の存在を積極的にPRすることは、市民の郷土愛を育む効果、また結城市で生まれ育ちながらも、今は別の土地で暮らす方々に対しても、結城市を見つめ直していただける、絶好の機会になるのではないかと、思うところでございます。

結城に合った、結城の良さ、結城の独自性を、発揮させ

今後「小さくても、キラリと光る街づくり」にするために、本市のPRについて市長の所見をお伺いいたします。

最後に市民サービスの証明書発行業務についてですが、コンビニエンスストアでの証明書発行業務が、今回の最終目的ではなく、本員は行財政改革の通過点だと思っております。次につながる一歩ではないかと考えます。

今後、本気で効率化を図り、本気で行財政改革を推し進めていこうとするなら、住民基本台帳カードの普及に努め現在の、窓口発行業務の在り方を市民の視点に立って、より効率的に便利になるよう、改善をしていかなければならないと思うところでございます。

今後、本市の市民課サービスについての市長の所見をお願いしまして、

これで、2番、佐藤仁の質問を終わらせて頂きます。